

で幸せ一杯の赤ちゃんを
捉えた内山優香さん、水
滴に映るモノまで美し
く撮った大塚菜南子さ
ん、視点の異なる3つの
写真構成でリズム感・同
じトーンでまとめた山本
心結さん、ピントが全て
ではないとアウトフォー
カス技法で孤独な心象風
景を表現した川村良太さ
ん、体育祭の感涙のシー
ンをきれいにフォーカス
した柏木祐舞さんの作品
に言及した。

二氏の言葉を受けて、小林部長が壇上
上手に着座する上位6名の受賞者に一言
ずつリクエスト。奥田きもの写真大賞を
受賞した武藤芳行さんは「新たに宮司さ
んになった方を少し動きを付けるために
前の空間を狭めて撮った」といい、下岡蓮
杖賞を受賞した教野弘孝さんは「お祭り
で出番を待つ子供たちを望遠で撮った。
親子さんの許可を得るのが一番苦労した
(笑)」と喜びを述べた。また「審査員の先
生に家族それぞれの一瞬を撮ったことの
ねらいを分かって載いて嬉しい」と語っ
たのは家族の朝のルーティーンを題材に

日本写真文化協会賞を受賞した加藤和奏
さん。また、文部科学大臣賞の相川頼之さ
んは「今回は最初にテーマを決め、日本の
静かに移り変わる自然の美しさを、本当
は一枚で表現したかったが難しく二枚で
表現した。これからは一枚で表現でき
るように頑張ります」と、昨年の内閣総理大
臣賞に続く受賞の喜びを語った。

同じく、文部科学大臣賞の永田久美子
さんは「写真を縦位置で構成することで
モノの見方が変わるかな？と考えたが、
私自身、(被写体の)髪が運河によせる波
など見えるようになり応募した」と述べ、

内閣総理大臣賞に輝いた石津武史氏も喜
びを語った。(左ページ、中段写真・参照)

上位6名と審査員との記念写真、さら
に当日出席の全員で記念写真を撮影(=
本誌18p参照)。出席者一同、会場を展示
会場ギャラリーBへ移動して展示作品を
観覧、審査員や来賓、受賞者関係者、運
営に当たった文協スタッフも加わり、交
流のひと時を楽しんだ。

互いの受賞を称えて歓談、辰野氏や菅
原氏と一緒に記念写真を撮るなど、あち
らこちらに写真の縁で色とりどりの華が
咲いた。



表彰式終了後は、会場を展示会場のギャラリーBへと移動して「みんなで観覧」。歓喜に包まれた。



文協・田中会長から協会賞を贈
られ笑顔の加藤和奏さん。



展示会場ではみんなが主役。作品の前でハイ！ポーズ。



表彰式の様子
を動画でご覧
になれます！



辰野先生と一緒に記念写真
を撮る高校生たち。直接話も
できて嬉しいひと時。



文科賞を受賞した永田久美
子さんはモデルとなった野島
マリーさんと夫で彫刻家の野
島泉里さんと記念写真。